

令和元年度第3回上下水道事業運営審議会議事録（要旨）

I 日 時 令和元年11月20日（水）午前10時から（2時間程度）

II 場 所 上下水道局本館6階 中会議室

III 出席委員 7名（50音順）

伊藤紘晃委員、川田晃仁委員、川野由紀子委員（副会長）、境大介委員、篠原亮太委員（会長）、津曲明子委員、山田大輔委員

IV 欠席委員 1名

川口彩希委員

V 事務局（市側）出席者

白石上下水道事業管理者、堂園技監、永戸総務部長、上村計画整備部長、白岩維持管理部長、藤本総務課長、江藤経営企画課長、上田計画調整課長、眞杉水相談課長 他4名

VI 傍聴者 0名 ※報道機関 1社（熊本日日新聞社）

VII 次 第

1 開 会

2 管理者挨拶

3 答 申

4 議 題

（1）平成30年度決算報告

（2）熊本市上下水道事業経営基本計画 平成30年度事業評価報告

5 その他

6 閉 会

VIII 議事録

3 答申

上下水道事業管理者から熊本市上下水道事業運営審議会（以下、「運営審議会」という。）に諮問した熊本市上下水道事業経営戦略（素案）に対する、第1回運営審議会（R1.10.4開催）及び第2回運営審議会（R1.10.16開催）における審議の結果について、運営審議会から上下水道事業管理者に対して答申された。

（答申の概要）

経営戦略素案の内容について、概ね適切、妥当な内容であると認める。

ただし、「1 気候変動により頻発する豪雨について」、「2 イメージ図等の表現について」、「3 上下水道事業に関わる事業者について」、「4 検証指標「純損益」について」の4項目については、経営戦略素案への反映を検討すること。また、経営戦略を推進するうえで留意すべき事項を2点整理しており、これらの事項についても趣旨を踏まえたくうえで事業を推進していくこと。

4 議題

（1）平成30年度決算について、資料1を用いて事務局から報告

P.7 下水道普及率について

委員	下水道普及率は 89.7%とのことであるが、残りの 10.3%が未処理であることは深刻な問題であると思う。山間部などへの公共下水道の整備は難しいため、合併処理浄化槽の普及を推進するようお願いしたい。 (事務局からの回答については、本議事録同ページ内の計画整備部長発言を参照。)
内部留保資金について	
委員	内部留保資金としてどれくらいの金額が留保されているのか。また、水道事業会計と下水道事業会計でそれぞれ分かれて留保されるのか。
経営企画課長	お見込みのとおり、水道事業会計、下水道事業会計で分かれて留保される。経営戦略においては、今後 10 年間は内部留保資金などを活用しながら現行の料金水準を維持していく。
委員	不足分について、他会計からの補てんはあるのか。
経営企画課長	例えば、工業用水道事業会計において（収益的収支に）不足分が発生した場合は、熊本市の一般会計から繰入れを受ける。 水道事業会計や下水道事業会計について資金不足が発生するような場合は料金改定を行う。
委員	どれくらい借金や貯金がどれくらいあるのか、赤字が発生した場合はどこから補てんされるのかなど、貸借対照表のような財政状況を示す表があってもいいのではないかと思う。
経営企画課長	平成 30 年度決算における内部留保資金は、水道事業会計において 113 億円、下水道事業会計において 90 億円である。
委員	内部留保資金は運用されているのか。
経営企画課長	お見込みのとおり。競争見積もりを実施したうえで（利率が高いものを採用して）運用している。
委員	運用に失敗して資金を減らしてしまったという自治体もあるので、慎重に実施していただきたい。
P. 1 年間総配水量及び年間有収水量（水道事業会計決算）、並びに P. 7 汚水処理水量及び年間有収水量について	
委員	総配水量・汚水処理水量と有収水量に差異が生じる理由を教えてください。
計画整備部長	水道においては、有効無収水量というのものが、例えば、管路の入替の際に洗管に使用される水量など、事業運営上必要であるがお客さまの料金対象にはならない分が一定量存在しており、そのようなところで差が生じている。下水道の場合は、私有の井戸がある分、水道に比べて全体水量が多く、さらに、それに加えて料金対象にならない不明水が流入している状況。
委員	井戸水の利用者に対して下水道使用料はどうなっているのか。
計画整備部長	（企業等に対して）基本的にメーターによって料金を請求している。
委員	メーターは 100%設置されているのか。
計画整備部長	100%ではない。一定の水量を認定し料金を請求している企業等もある。
P. 1 下水道普及率について	
計画整備部長	（本議事録 P. 1 の篠原会長の発言に対して）生活排水処理施設としては、公共下水道の他に合併処理浄化槽などもあり、汚水処理率は約 96%となっている。汚水処理率の構成要素の一つである下水道普及率が 89.7%であり、下水道普及率については 94%を最終目標として整備を進めている。
委員	下水道普及率に合併処理浄化槽利用分は含まれていないのか。
計画整備部長	お見込みのとおり。

委員	残りの4%はどのように処理されているのか。
計画整備部長	単独処理浄化槽やくみ取りによって処理されている。
委員	公共下水道の整備が困難な地域があるのか。
計画整備部長	くまもと生活排水処理構想によって、熊本県全体における公共下水道や合併処理浄化槽、コミュニティプラント、農業集落用排水処理施設等のそれぞれの整備地域が示されている。公共下水道によって面的に整備される地域以外については、合併処理浄化槽等による処理となるため、本市の環境部局において合併処理浄化槽の啓発や補助事業等に取り組んでいる。
P. 13 年間総配水量及び年間総有収水量について（工業用水道）	
委員	総配水量を総有収水量が上回っている理由を教えてください。
経営企画課長	工業用水道については契約水量というものがあり、使用しなくても一定水量分の料金を請求することから、実際に配水した量よりも料金収入の対象となる水量が多くなっている。

(2)熊本市上下水道事業経営基本計画 平成30年度事業評価について、資料2-1-1、2-1-2、2-2 を用いて事務局から報告	
資料2-1-1 P. 6 成果指標「危機管理研修延べ時間」について	
委員	基準値とは何か。
総務課長	平成23年度実績値を基準として設定している。
委員	過去の実績値と比較するために基準値を設定したということか。
総務課長	お見込みのとおり。
委員	「熊本市総合防災訓練が廃止された」と記載されているが、研修時間との関係について教えてください。
総務課長	平成27年度以前は熊本市総合防災訓練が開催されており、多くの職員が参加し延べ500時間程度の実績となっていたが、熊本地震以降、開催は見合わせとなっている。
委員	「廃止」と記載すると今後開催することはないという印象を受けるためイメージが悪い。表現を修正していただきたい。
資料2-1-1 P. 13 成果指標「純損益」について	
委員	成果指標「純損益」について、評価において「純利益」と記載されているが、意図があっ て使い分けられているのか。
経営企画課長	意図は特にない。ご指摘を踏まえ修正させていただく。
資料2-1-1 P. 6 成果指標「危機管理研修延べ時間」について	
委員	職員数が減少しているなかで、基準値をこのままとしてよいのか気になっている。職員のみでなく、委託先も含めて集計するなど見直してもよいかと思う。
総務課長	委託先からの支援・訓練などの参加もあるため、今後はそれらを合わせて計上するなど、見直しを検討したい。
委員	熊本地震で辛い経験をしたにも関わらず、危機管理研修延べ時間がD評価であると、なんだこれは、とってしまう。評価を見た瞬間に自分はショックを受けた。公表する際は誤解のない表現に変更していただきたい。
委員	市全体で開催される研修に依存している印象を受けた。内部講師の育成や外部講師による研修など、その辺りの考えを教えてください。
総務課長	現在策定している下水道BCPの訓練については、下水道新技術機構等の意見を踏まえながら、内容をブラッシュアップしていきたいと思っている。
総務部長	11月27日には局独自の防災訓練も予定している。会場は西部浄化センターであり、水道管の修繕や下水道管路の点検など、管工事協同組合の業者を含め毎年大規模な訓練を実施し

	ており、この防災訓練についても危機管理研修延べ時間にカウントされている。
委員	防災訓練の強化については、強調して書いていただきたい。
資料 2-1-1 P. 11 基本施策 8 お客さまの参画と水に関わる人たちとの連携・協働について	
委員	指標が設定されていないのは、数値化が難しいことが理由か。
経営企画 課長	お見込みのとおり。
委員	連携協働に関する市民参加の会議の開催状況・時間であったり、審議内容に関するアンケート調査によって、数値化して評価するという研究がある。自分は、経営戦略に記載されていたアンケート結果によって、お客さまがどういった情報が必要としているかという点や上下水道局に対する信頼度などを知ることができた。アンケートに記載いただいた意見について運営審議会で審議するなど、市民の意見を二重に聞くようなシステムを作り、その審議回数などを指標として設定することもできるのではないかと思う。
経営企画 課長	ご指摘いただいた市民との連携・協働に関する内容については、経営戦略に記載させていただいているところであり、今後は経営戦略に基づき着実に進めていきたいと考えている。